

CSR REPORT 2010

CORPORATE SOCIAL RESPONSIBILITY
ETHICS COMPLIANCE
SAFETY HEALTH
ENVIRONMENT
QUALITY

CORPORATE SOCIAL RESPONSIBILITY ETHICS COMPLIANCE SAFETY HEALTH ENVIRONMENT QUALITY 2010

CORPORATE SOCIAL RESPONSIBILITY ETHICS COMPLIANCE SAFETY HEALTH ENVIRONMENT QUALITY 2010



AOI NEON Co., Ltd.

アオイネオンCSRレポート2010

アオイネオンの企業理念

心、情報、光にカタチに

私たちが考えるサインの第一目的は「情報を的確に伝える」ということです。そのうえで「広告主様の心が伝わるサイン」をつくることを目標としています。私たちは、お客様の「心」「情報」をメーカーとして「光」「カタチ」にしていきます。ギリシャ語のNEOS(新しい)から命名されたネオンの名の下に新たな価値創造にチャレンジし、環境問題やコンプライアンスなどへも積極的に取り組み、社会との共生・調和を念頭に、お客様をはじめとする全てのステークホルダーの皆様の満足と信頼を得られる企業を目指しています。

企業概要

社名 アオイネオン株式会社
 創業 昭和26年8月
 設立 昭和32年1月
 資本金 5,750万円
 従業員数 82名(男子64名・女子18名)
 代表取締役社長 横山 巖

工場 静岡工場 東京工場

静岡本社 〒422-8076
 静岡市駿河区八幡2-11-11
 TEL 054-282-1221

東京本社 〒146-0082
 東京都大田区池上3-6-16
 TEL 03-3754-2111

浜松支店 〒430-0929
 浜松市中区中央3-7-1 1F
 TEL 053-489-5021

大阪支店 〒541-0057
 大阪市中央区北久宝寺町4-3-5 3F
 TEL 06-6281-3621

業務内容 ネオン・広告塔・館内サイン
 企画・設計・施工・検査診断

CSRレポート2010について

本レポートは、当社のCSR全般についての考え方や具体的な取り組みをステークホルダーの皆様にはわかりやすく開示するための報告書であり、2003年度に第1号を発行し、以後毎年度継続的に発行するものです。

■アオイネオンのCSRをご理解いただくために、CSRの考え方を明確に表現するとともに、出来る限り各項目ごとに方針(ポリシー)を記述し、取り組み事例を掲載しました。

■CSR活動をより具体的な形で開示するため、従業員のインタビューを掲載しました。

①対象読者

お客様、お取引様、株主様、従業員、そして地域社会など、様々なステークホルダーの皆様。

②レポート対象範囲

アオイネオン株の全拠点(ただし、全項目について全事業所を網羅するわけではなく、テーマに基づいて代表的な事例を掲載しています。
 (数値データにはそれぞれの対象範囲を記載しています)

③レポート対象期間

2009年度(2009年8月1日～2010年7月31日)とし、一部トピックスについては、それ以降の活動も掲載しています。

④発行時期

2010年12月(次回2011年12月予定)

⑤参考としたガイドライン

環境省「環境報告書ガイドライン」
 環境省「環境会計ガイドライン」
 GRI「持続可能性報告のガイドライン」

⑥WEBサイトへの掲載

アオイネオンホームページでも本レポートの全内容を掲載するなど、積極的に開示を行います。
<http://www.aoineon.com>



静岡本社・工場



浜松支店(ハーモニア新町1F)

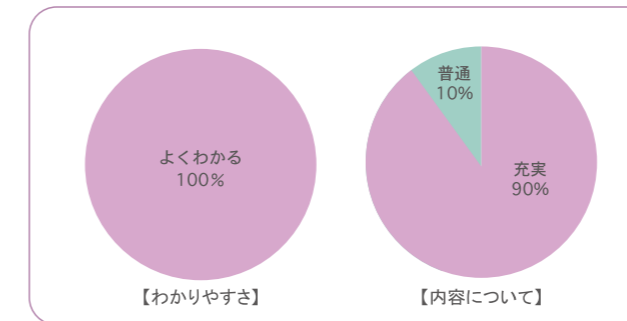


東京本社・工場



大阪支店(本町サミットビル3F)

CSRレポートアンケート結果



■印象に残った項目(複数回答)

1位	看板ドクター
2位	建設業許可と専任技術者
3位	CSRレポートアンケート結果

「アオイネオンCSRレポート2009」は2009年12月に冊子及びホームページへの掲載で発行しました。冊子版はお客様をはじめ、お取引先様、従業員、ご請求いただいた方々を中心にお配りし、レポートへのご意見についてはアンケートを実施いたしました。ご回答を頂戴しました皆様にこの場を借りて御礼申し上げます。

トピックス

◆ISO27001(情報セキュリティマネジメントシステム)認証に向けキックオフしました。

業務におけるIT依存度が高まる中、お客様の情報をはじめとした情報資産を守るために、情報セキュリティマネジメントシステムを構築しています。

大阪支店では国際規格であるISO27001の2011年認証取得を目指してプロジェクトをスタートしました。



▲安全大会にて情報漏洩防止対策を説明。(大阪)

目次

トップメッセージ	3
アオイネオンのCSR経営	4
特集1: 低炭素社会づくりへの貢献	
再生可能エネルギーの活用	5
省エネルギーへの取り組み	5
C・O・S®カーボンオフセット・サイン	6
特集2: 検査・診断による事故防止	
看板診断システム「看板ドクター」®	7.8
コンプライアンス	
コンプライアンスの徹底	9
報告・相談への対応	9
コンプライアンス方針	10
ライセンスレポートによるご説明	11
建設業許可と専任技術者	11
屋外広告業の登録	11
情報セキュリティ	12
地域社会との共生	
違反簡易広告物除去活動への参加	13
小さな親切運動への参加	14
エコキャップ運動への参加	14
環境保全活動	
アオイネオンの環境方針	15
環境マネジメントシステムへの取り組み	15
主な環境影響と保全活動	16
「チャレンジ25」	16
環境目標に対する実績	17.18
環境会計	18
品質の向上	
アオイネオンの品質方針	19
品質保証のプロセス	20
「資格・教育プロジェクト」	20
労働安全衛生活動	
安全衛生委員会2009年度目標と結果	21
安全衛生委員会の主な活動と組織体制	21
安全パトロール	22
作業環境測定	22
緊急事態への対応	22



アオイネオンの CSR 経営
～社会から信頼される企業であり続けるために～

一昨年の国際金融危機に端を発した世界的な景気低迷は、新興国を中心に徐々に上向きに転じつつありますが、国内市場に与えた影響は大きく現在も厳しい状況が続いています。しかし困難な状況であるからこそ、社会の期待や要請に応え、公正で透明な企業活動の推進を通じた CSR への誠実な取り組みが一段と重みを増していることを実感しています。CSR 経営は、当社の経営そのものであり経営理念を実現するための取り組み総てであると考えます。社会変化の早い今日、よりよい社会の創造のため、当社が重視して取り組むべき課題は何かを常に見直し、認識するよう努めております。

「美しい都市景観の創出」を CSR 経営ビジョンとし、CSR における6つの重点項目（コンプライアンス・地域社会との共生・品質の向上・環境保全活動・労働安全衛生管理・社会的課題への取り組み）を明確にしました。2010年私どもは本レポートにご報告の通り、着実な実行、進捗を図り、それぞれの取り組みにおいて一定の成果を上げることができました。

これからも社会から信頼される企業であり続けるため、また来年度の報告書においても、多くのステークホルダーの皆様によりご報告ができるよう、事業活動を通じて積極的に CSR 活動の改善・向上を図ってまいります。ステークホルダーの皆様には一層のご指導・ご支援を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

代表取締役社長

横山 巖

アオイネオンのCSR[※]経営

企業理念の具現化のため「CSR経営ビジョン」および「CSR重点課題」を掲げてCSR経営を実践していきます。CSR経営により当社は、社会的価値である、より良い社会創造・法令遵守・情報伝達・地域の活性化を約束し、社会から支持される「価値ある企業」を目指します。



※ “Corporate Social Responsibility” の略で「企業の社会的責任」(企業が果たすべき社会的責任)と一般では訳される。

特集1：低炭素社会づくりへの貢献

製品が環境に与える影響を強く認識し、環境品質の向上に努めています。

アオイネオンでは、環境に多大な影響を与える要因の削減・解消に努め、グリーン購入、省エネ製品の設計をはじめ、独自の取り組みを展開し、環境に配慮した製品を提供しています。

再生可能エネルギーの活用

小型風力発電設備による発電

CO2を増やさず自然エネルギーによる発電をご提案いたします。サインに小型風力発電装置を搭載し、自然の風を利用し風力発電を行っています。発電したエネルギーは、夜間のサイン照明に利用しています。



看板上部に風力発電装置を設置



発電したエネルギーで点灯
写真：清水銀行 東静岡支店

省エネルギーへの取り組み

LEDの採用により省エネ・省メンテナンスを実現

製品の省エネルギー性能を高める取り組みとしてサインの照明にLEDを採用しました。照明効果を損なうことなく大幅な省エネを実現。長寿命でランプ交換の手間を省くことができます。またLEDは紫外線領域の波長が少ないため、虫の飛来を抑制します。



壁面文字(LED内照式)
写真：静岡県労働金庫 浜松中央支店



文字内部LED

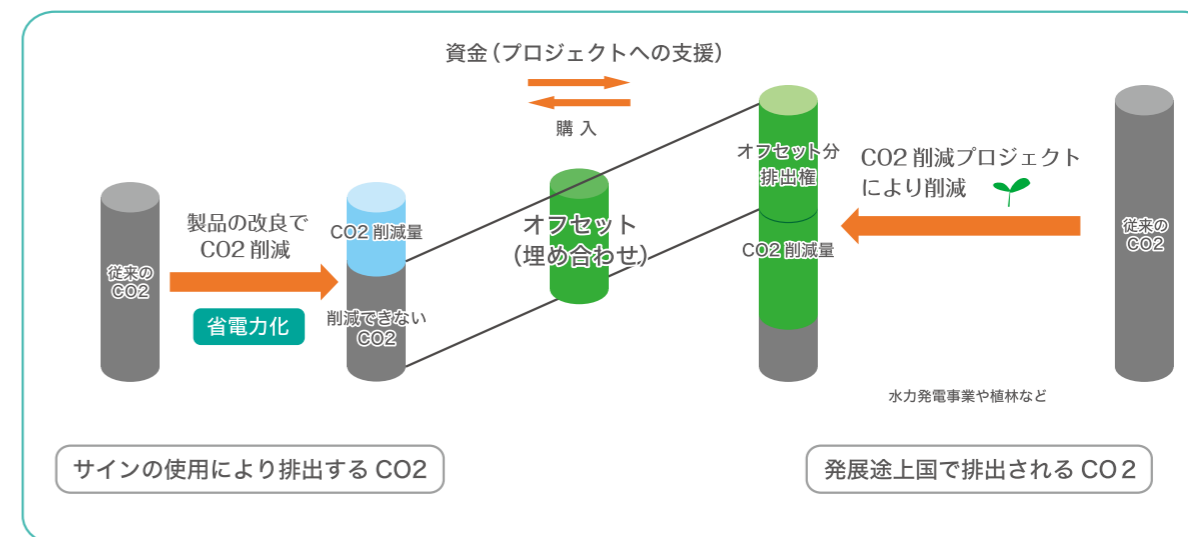


屋上サイン(LED内・外照式)
写真：佐藤製菓株式会社(沖縄)

C・O・S® (カーボン・オフセット・サイン)

看板点灯時のCO2排出量をオフセットします。

発展途上国におけるCO2削減プロジェクト等の排出権を購入し、埋め合わせ分を弊社の管理口座(国別登録簿)から日本政府の償却口座に移転します。これにより、看板点灯時に排出されるCO2の一定量をオフセットします。



TOPICS 『C・O・S®』で5年間の看板点灯に伴うCO2排出をオフセット

株式会社資生堂様にご採用いただきました。省エネ等のCO2削減に配慮した製品改良に取り組んだ上で、全国のチェーンストアに取付ける看板の点灯時に排出されるCO2を対象に、設置後5年間使用分に相当するCO2排出量をオフセットします。(2010年5月21日以降出荷分より実施)

オフセットの主体：株式会社資生堂
 オフセットの対象：看板点灯時に排出されるCO2(5年間)
 クレジットの種類：京都クレジット(CER)
 プロジェクト種類：中国湖北省の小規模水力発電事業
 無効化の方法：オフセット相当分の排出権を日本政府償却口座に移転償却し無効化



看板診断システムで安全性の確保とストック型社会への貢献を目指します。

看板診断システム「看板ドクター」 商標登録 第4969251号

安全確保とストック型社会に貢献します。

看板を長期的に良好な状態で維持するためには定期的にその現状を正確に把握する必要があります。看板診断システム「看板ドクター」は、訓練された検査員が内視鏡カメラ、超音波、厚さ計、赤外線カメラ等の機器を用いてお客様の看板を検査します。その結果、外観を肉眼で調べるだけの目視調査。調査の精度が格段に高くなり、看板の現状をより正確に把握できます。補修や改修を実施したり、長期改修計画を策定する際にも、より実態に則した内容とすることが可能となります。また、既存の看板をより長期間に使用することで、環境保全や資源の有効活用を実現しストック型社会への貢献に寄与します。



隠れた欠陥を早期に発見します。

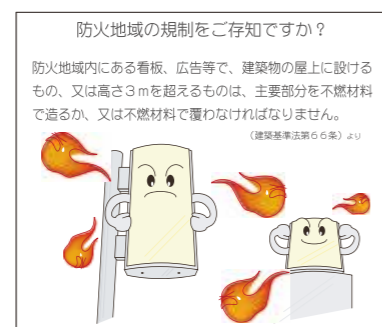
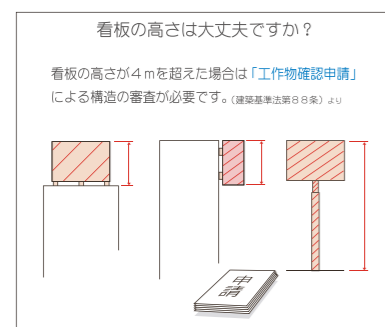
屋外に設置されている看板は、長い間風雨に晒され、鉄部にサビが発生して腐食していきます。連結部や支柱などで見てわかるサビや腐食があれば、外観からは想像できない内部の鉄骨の腐食もあり通常の目視調査だけでは発見できないケースが多く見受けられます。

内部の劣化や腐食が具体的な不具合となって表面化するまでには時間がかかるため、欠陥が判明したときにはすでに落下や倒壊等の事故が起きていたということも考えられます。看板ドクターなら本体を損傷せずに内部の様子を確認できるため、隠れた欠陥を早期に発見できる確率が高いと言えます。



法令に関するチェックを怠りません。

建築基準法、消防法に基づく各所申請状況や都道府県、市が定める条例の確認を実施します。私たちはプロとして遵法での改修方法をご提案する義務があると考えています。



※該当する法令の一部を掲載しています。

お客様の負担を減らし、短時間で検査できるように新しい技術の開発を続けていきます。

検査システム「アンカードクター」、「ツリーテスター」は当社で研究、開発、試験を重ねて特許を取得した検査技術です。これからは私たちは看板ドクターを「安心・安全」を一層高度に実現できるシステムへと磨きあげていきます。

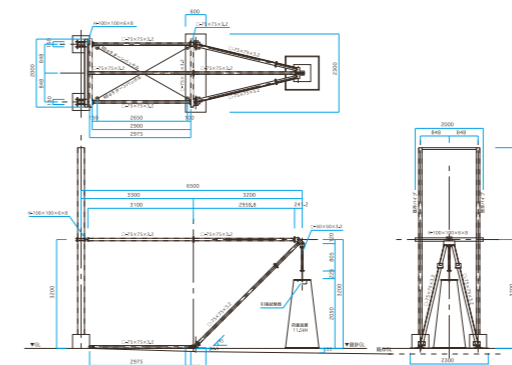
アンカードクター(アンカーボルト引抜き検査) 特許 第3779722号 商標登録 第503991号

既存アンカーボルトに特殊検査リングを装着し、締め付けることで発生するひずみを測定します。看板を取り外さずに引抜き検査が実施出来ます。



ツリーテスター(埋設基礎検査)

特許 第4440331号 商標登録 第5290427号
設計図や構造計算書が無くても、地耐力が判らなくても、診断可能です。



VOICE

チェックポイントは漏れなく、確実に検査します

看板ドクターでは検査時に目視可能な箇所は原則、全てがチェック対象になります。検査員は限られた時間内で数多くのポイントが漏れなくチェック出来るようにチェックリストを使用しています。

チェックリストは内容を定期的に見直し、常



により良いものに改善しています。お客様にはリストを使った検査結果を分かりやすく編集し、写真付きの診断報告書としてご提出します。

コンプライアンスを中心に据えた CSR 経営を実践します。

Point

- アオイネオンの全従業員が共通の価値・行動の基準で業務を推進できるよう「倫理綱領(コンプライアンスマニュアル)」を制定しています。
- 全ての事業所において専任技術者を配置し、事業に必要な許可を取得しています。

社員一人ひとりに対するコンプライアンスの徹底

当社では2005年に「コンプライアンス方針」を制定し公正かつ適切な経営を実現し、企業市民として社会的責任を果たすことに取り組んできました。

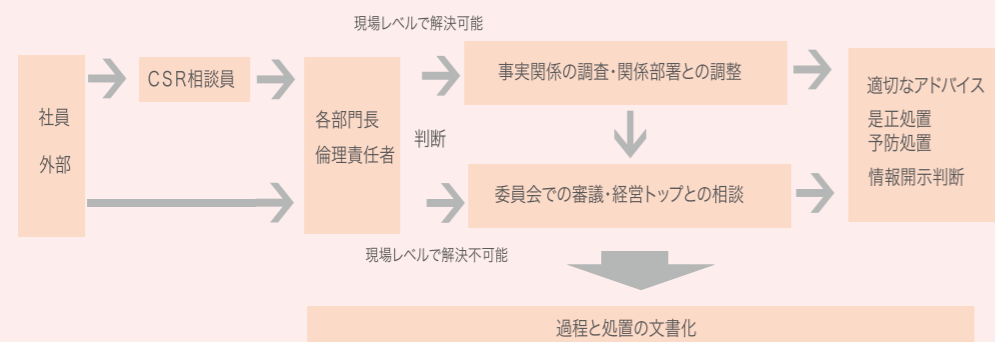
また、コンプライアンスの徹底には、一人ひとりが、自らの行動をコンプライアンスの観点から確認して、業務に取り組むことが必要です。CSR委員会を中心に論議を重ね、行動規範を定めた「倫理綱領」を作成し全従業員に配布するとともに教育を実施し、CSR経営の重要性と、その土台となるコンプライアンス意識の浸透を図りました。



報告、相談への対応

倫理責任者、各部門長は、適宜、社員からの相談に応じ、適切なアドバイスを与える。
また、倫理綱領や各種法令遵守から逸脱する行為があるとの報告を受けた場合、以下により対応する。

〈対応手順〉



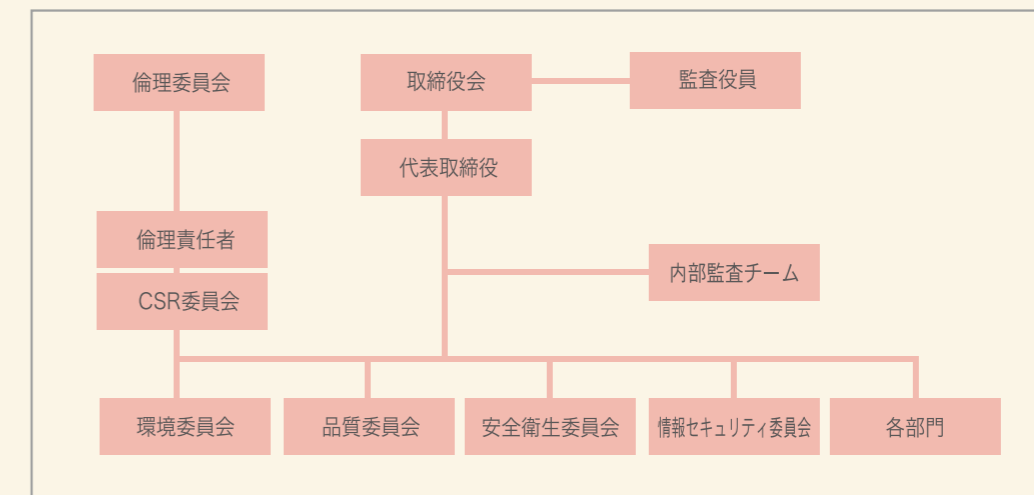
■ コンプライアンス方針(倫理・法令順守)

当社は企業活動を通じて公正かつ適切な経営を実現し、企業市民として社会的責任を果たします。そのために経営幹部であろうと一般職員であろうと、職位あるいは職務内容にかかわらずみな平等しく、誠心誠意をもって、業務に関連する法令・ルールを遵守し、より一層倫理的な組織を構築していくことに努めます。

〈コンプライアンス方針〉

1. 法令・ルールを守り、地域社会に貢献しよう
私たちは顧客、取引先、株主等を含む幅広い社会との健全で良好な関係を維持するとともに法令や社会的規範、社会的良識に基づいた企業活動を行い、地域社会発展の一翼を担います。
2. お客様に喜ばれる努力をしよう
私たちはお客様がサインに期待する情報伝達機能を確実に果たすとともに、お客様が安心して掲出を続けられる安全性、耐久性の確保を実現します。
3. みんなで創ろう笑顔のある職場
私たちはすべての人々の人権を尊重します。また一人ひとりが互いに信頼できる健全な職場環境をつくります。
4. 一人ひとりの心がけ健康づくり安全作業
私たちは社員一人ひとりが心身ともに健康で、安全に働くことができる、事故や災害のない職場づくりを目指します。

〈社内体制〉



- 1、コンプライアンス委員会(倫理委員会):倫理法令遵守に関する全社の方針の作成、マネジメントシステムの見直しなどを行う。事務局はCSR委員会内に置く。
- 2、コンプライアンス責任者(倫理責任者):倫理方針の推進に取り組む最高責任者。
- 3、CSR委員会:コンプライアンス委員会の事務局を務め、倫理法令遵守に関する日常的な業務を行う。たとえば、方針の管理と改訂作業、状況に応じた計画の見直し 報告相談業務、社外とのコミュニケーション、実施状況の把握と報告。

■ ライセンスレポートによるご説明

お客さまに安心してご発注して頂くために、工事に必要な許認可や資格について事前にご説明しております。
また、「ライセンスレポート」により弊社の許認可取得状況、専任技術者、有資格者等の有無についてもご確認いただけます。



ライセンスレポート「建設業許可」編、「屋外広告業」編

■ 建設業許可と専任技術者

個人・法人などの形態や、商社・代理業などの業種を問わず、500万円以上の建設工事を請負う場合は、建設業許可が必要です。建設業許可には、28種の業種があり、工事を行う場合、その物件の主要な部分に該当する建設業許可が必要となり、該当する種類以外の建設業許可では、業務を行なえません。
弊社では、全ての事業所において専任技術者を配置し、必要な建設業の許可を所得しております。

建設業許可一覧

建設業の種類	広告業として請負いする工事内容	建設業の許可番号
鋼構造物工事業	鋼材を加工又は組立し工作物（広告物本体）を築造する工事	特-19 第19713号
内装仕上工事業	館内サインを設置する工事	
建築工事業	建築工事業全般	
とび・土工工事業	工作物（広告物）の基礎工事 足場の組立工事 工作物の解体工事 重量物の運搬設置	般-21 第19713号
塗装工事業	塗装を工作物（広告塔の鉄骨など）に塗付する工事 フィルムシートや出力シートなどを広告物に貼付けする工事	般-19 第19713号
電気工事業	電材を設置又は取替える工事 （ネオン管、LED照明、投光器など）	
板金工事業	広告塔等の表示板面の取替え工事 チャンネル文字の設置や取替え工事	般-21 第19713号

2010年12月 現在

技術者（静岡・東京・浜松・大阪）

- 一級建築士：4名
- 二級建築士：3名
- 一級建築施工管理技士：7名
- 二級建築施工管理技士：9名
- 一級電気工事施工管理技士：1名
- 二級電気工事施工管理技士：4名

■ 屋外広告業の登録

■ 全国104ヶ所全ての都道府県、政令市、中核市で屋外広告業の登録済

屋外広告を施工する者は、工事を行う現地の自治体への登録がなければ、施工が出来ません。元請、下請に関わらず全ての業者に登録が義務付けられており、建築工事などの一部として屋外広告を設置する業務を請け負った場合でも登録が必要です。弊社では、すべての地域において各事業所ごとに業務主任者を専任し登録が完了しております。

■ 各事業所に在籍する屋外広告士（静岡・東京・浜松・大阪） 22名

※その他、各事業所に屋外広告物講習会修了者（12名）が在籍しております。

2010年12月 現在

■ 情報セキュリティ

アオイネオンでは、技術や情報、お客様や社員に関わる情報は貴重な資産であるとの認識のもと「情報セキュリティ基本方針」を策定し、情報保護・管理強化に取り組んでいます。「情報セキュリティ委員会」のもと情報セキュリティ管理責任者と推進事務局を設置しています。活動の推進にあたっては、情報セキュリティマネジメントシステムの国際規格(ISO/IEC27001)に基づく管理体制を構築し、継続的なレベルアップを図っています。

情報セキュリティ基本方針(2010年9月制定)

1. 目的

当社は情報を的確に伝えるサイン、お客様の心が伝わるサインを造り続けること、それを経営理念として「心、情報、光にカタチに」のキャッチフレーズに込めています。当社は屋内外における情報伝達メディアであるサインの製作にあたり、取り扱う情報資産の適切な保護対策を実施する事により、お客様の信頼確保及び事業損失を最小限に留めることを目的として、この「情報セキュリティ基本方針」を定めます。
私たちは、ISO27001に準拠した「情報セキュリティマネジメントシステム」を構築し、お客様からお預かりした情報をはじめ、当社が取り扱う情報を重要な資産として保護・管理する事でセキュリティに関するインシデント(事件・事故)の防止を図ります。

2. 情報セキュリティの定義

情報セキュリティとは、機密性、完全性及び可用性を確保し維持することをいう。

- (1) 機密性：情報を漏えいや不正アクセスから保護すること。
- (2) 完全性：情報の改ざんや間違いから保護すること。
- (3) 可用性：情報の紛失・破損やシステムの停止などから保護すること。

3. 適用範囲

【組織】：アオイネオン株式会社

【業務】：サインボード並びにそれに付随する銘板の設計、建設、据付、メンテナンス及びサインボードの検査、診断業務

【資産】：上記業務、サービスにかかわる書類、データ、情報システム

4. 実施事項

- (1) 適用範囲の全ての情報資産を脅威(漏えい、不正アクセス、改ざん、紛失・破損)から保護するための情報セキュリティマネジメントシステムを確立、導入、運用、監視、見直し、維持及び改善するものとする。
- (2) 情報資産の取り扱い、関係法令及び契約上の要求事項を順守するものとする。
- (3) 重大な障害または災害から事業活動が中断しないように、予防及び回復手順を策定し、定期的な見直しをするものとする。
- (4) 情報セキュリティの教育・訓練を適用範囲すべての従業員に対して定期的実施するものとする。

5. 責任と義務及び罰則

- (1) 情報セキュリティの責任は、代表取締役が負う。そのために代表取締役は、適用範囲の従業員が必要とする資源を提供するものとする。
- (2) 適用範囲の従業員は、お客さま情報を守る義務があるものとする。
- (3) 適用範囲の従業員は、本方針を維持するため策定された手順に従わなければならないものとする。
- (4) 適用範囲の従業員は、情報セキュリティに対する事故及び弱点を報告する責任を有するものとする。
- (5) 適用範囲の従業員が、お客さま情報に限らず当社が取り扱う情報資産の保護を危うくする行為を行なった場合は、社員就業規則に従い処分を行なうものとする。

6. 定期的見直し

情報セキュリティマネジメントシステムの見直しは、環境変化に合わせるため定期的実施するものとする。

『地域社会とのきずな』を大切に より良い社会・地域づくりに貢献します。

Point

- 違反広告物の共同除去活動、「小さな親切運動」のクリーン作戦に参加しました。
- エコキャップ運動では33400個(ワクチン41人分)を提供しました。

大阪市・路上違反簡易広告物除去活動「かたづけ・たい活動」への参加

大阪支店では本年も6月及び9月に大阪屋外広告美術協同組合、関西ネオン工業協同組合が主催する「かたづけ・たい」活動に参加しました。市街地や繁華街の違反簡易広告物(貼紙等)の撤去作業を実施しました。



6月9日 難波高島屋北周辺

VOICE

大阪難波が違反広告物のない きれいな街に

今回参加した「かたづけ・たい」は大阪難波駅周辺でした。難波駅周辺は人通りも多く、「汚い街」という印象でしたが御堂筋を中心に最近はきれいになってきたと感じていました。「かたづけ・たい」には2回参加し、どちらも難波駅周辺でしたが想像していたより



大阪支店 企画設計部
小松千恵

はるかに違法な張り紙等は少なく、ほとんどないと言っていい程でした。街がきれいになると違反広告物も自然となくなるものなのかなと感じました。

東京都平成21年度 共同違反広告物除去活動への参加

東京都が実施している違法広告物の除去活動に参加しました。本年も東京本社より大田区蒲田駅周辺での活動に参加させていただきました。



10月7日 蒲田駅東口周辺



違反看板に警告シール貼付け

平成21年度 『小さな親切運動』への参加

毎年、「小さな親切運動」に参加しています。本年度は静岡市中心街の公園及び浜松駅周辺でのクリーン作戦に参加しました。



静岡本社



浜松支店

本年度も心の国際交流事業「使用済み切手の収集活動」に参加しました。使用済み切手482gと使用済みプリペイドカード149枚を寄付しました。収集された切手は、小さな親切運動県本部から(財)ジョイセフを通じて換金され、発展途上国の生活改善や医療支援のために活用されています。



「小さな親切」運動



『エコキャップ運動』への参加

「エコキャップ運動」に参加しています。ペットボトルのキャップを分別回収し再資源化することによりCO2の発生抑制に寄与できると同時に、キャップの売却益で世界の子供たちにワクチンを届けます。今年は、協力業者の皆様にもご協力いただき、昨年の約1.3倍の33400個(ワクチン41人分)をNPO法人エコキャップ推進委員会に提供しました。



地球環境の保全は21世紀を生きる企業の使命です。

Point

- ISO14001に従って外部監査員による環境監査と、社内監査員による定期監査を実施し、環境マネジメントシステムの適正な運用に努めています。
- 事業所ごとに環境計画を策定し、従業員の意識向上と環境活動の改善を図っています。

アオイネオンの環境方針

アオイネオンは2001年に「環境問題改善プロジェクト」をスタートさせ、「アオイネオン環境方針」のもと環境保全活動に着手しました。また2009年には国際環境規格ISO14001を全事業所・工場で認証取得するなど、事業活動に伴い発生する様々な環境負荷の低減に向けた取り組みを進めてきました。今後も「全ての事業決定において環境に配慮する」という新たな方針のもとさらに積極的な取り組みを進めていきます。

アオイネオン環境方針(2001年6月制定 2005年8月改訂)

基本方針

当社は屋内外における情報伝達メディアであるサインの製作にあたり、すべての事業決定において地球環境への配慮を実現し、社会的責任を果たすことを目指します。そのために環境マネジメントシステムを継続的に改善し、汚染の予防と環境パフォーマンスの向上に努めます。また、環境関連法令、その他の要求事項を遵守し、地域社会との協調に努めます。

特に下記項目を環境目的として取り組んでまいります。

1. 資源・エネルギーの節減
2. グリーン購入の推進
3. 産業廃棄物の削減

この方針は組織のために働くすべての人に周知し、広く一般に開示します。

環境マネジメントシステムへの取り組み

当社が環境保全に関わる活動を推進するに当たり、環境に関連する方針や目標を設定し、これらの達成に向けて取り組んでいます。ISO14001規格に従い環境マネジメントシステムを運用し、定期的に外部審査、内部監査を実施しています。外部審査では毎年の定期審査、3年毎の更新審査でシステムの適合性と有効性の審査を受けています。



東京・静岡・大阪・浜松の全事業所・工場
でISO14001の認証を取得しています。



外部審査機関による審査の様子

主な環境影響と保全活動

製品を製造しお客様に提供するまでに、資源やエネルギーの消費、産業廃棄物の発生やCO2の排出など環境に負荷を与えています。私たちは事業活動にともなう環境への負荷を正しく認識し、持続可能な地球環境のために省エネ・省資源、廃棄物削減などの環境保全活動を推進していきます。



「チャレンジ25」にチャレンジャー登録しています。

アオイネオンは2010年より、地球温暖化防止のための新しい国民的運動「チャレンジ25」にチャレンジャー登録しています。夏期のクールビズや冬期のウォームビズへの実施によりオフィスでの使用電力削減に取り組んでいます。またエコドライブの推進により使用燃料の削減を実践し、温室効果ガスの削減に貢献しています。



未来が変わる。日本が変わる。
チャレンジ25

VOICE

未来に生きる子どもたちの為に

地球温暖化ガス削減は避けては通れない人類の課題であり、今まさに迅速に取り組まなければならない重要課題の一つです。

CO2排出の削減・産業廃棄物発生抑制・省エネ商品の推奨など、日々の業務の中で私たちに今出来ることを確実にこなしてい



大阪支店 環境管理責任者
宮永恭二

それにより地球温暖化防止活動に貢献し子どもたちにより良い環境を残していけるように全員で取り組み努力していきたいと考えています。

2009年度 環境目標に対する実績

日々の活動から可能な限り環境への負荷を低減させるため、環境目標を明確化するとともに、目標に定量性を持たせています。未達成の項目に対しては改善目標を設定し具体的な対策を講じます。目標達成した項目も合わせ継続的な環境負荷の低減に取り組んでいます。

静岡本社

対象期間 2009年8月1日～2010年7月31日
対象サイト：静岡本社、東京本社、大阪支店、浜松支店

項目	基準年	目標値	実績値	評価	
産業廃棄物削減	産業廃棄物処分量 原単位2%削減 (産廃処分量/工事売上高100万円)	2008	0.082 m ³	0.073 m ³	◎
資源・エネルギー 使用量の削減	CO ₂ 排出量の削減 (電気・ガソリン・軽油・ガス・水道使用量)	2008	78995.8 kg-CO ₂	93966 kg-CO ₂	×
グリーン購入の推進	ロングライフ蛍光灯の購入 (ロングライフランプ購入量/蛍光灯購入量)	2008	90.2 %	74.8 %	×
	汎用品でのグリーン購入 (グリーン購入量/汎用品購入量)	2008	48.4 %	62.2 %	◎
法規制の遵守	環境法規制への対応	-	-	-	◎

東京本社

項目	基準年	目標値	実績値	評価	
産業廃棄物削減	産業廃棄物処分量 原単位2%削減 (産廃処分量/工事売上高100万円)	2008	0.076 m ³	0.115 m ³	×
資源・エネルギー 使用量の削減	CO ₂ 排出量の削減 (電気・ガソリン・軽油・ガス・水道使用量)	2008	55657 kg-CO ₂	61127 kg-CO ₂	×
グリーン購入の推進	ロングライフ蛍光灯の購入 (ロングライフランプ購入量/蛍光灯購入量)	2008	65 %	55 %	×
	汎用品でのグリーン購入 (グリーン購入量/汎用品購入量)	2008	55 %	67.1 %	◎
法規制の遵守	環境法規制への対応	-	-	-	◎

浜松支店

項目	基準年	目標値	実績値	評価	
産業廃棄物削減	産業廃棄物の適正処分及び実績値の把握	2008	0.14 m ³	0.085 m ³	◎
資源・エネルギー 使用量の削減	手順の遵守及びCO ₂ 排出量の把握 (電気・ガソリン・軽油・ガス・水道使用量)	2008	16650 kg-CO ₂	19047 kg-CO ₂	×
グリーン購入の推進	ロングライフ蛍光灯の購入 (ロングライフランプ購入量/蛍光灯購入量)	2008	91 %	88.8 %	×
	汎用品でのグリーン購入 (グリーン購入量/汎用品購入量)	2008	75 %	73 %	×
法規制の遵守	環境法規制への対応	-	-	-	◎

大阪支店

※産業廃棄物について本年度は実績把握を目標としています。

項目	基準年	目標値	実績値	評価	
産業廃棄物削減	産業廃棄物の適正処分及び実績値の把握	-	- m ³	58.72 m ³	-
資源・エネルギー 使用量の削減	手順の遵守及びCO ₂ 排出量の把握 (電気・ガソリン使用量)	-	16296 kg-CO ₂	17918 kg-CO ₂	×
グリーン購入の推進	ロングライフ蛍光灯の購入 (ロングライフランプ購入量/蛍光灯購入量)	-	50 %	87.7 %	◎
	汎用品でのグリーン購入 (グリーン購入量/汎用品購入量)	-	30 %	83.9 %	◎
法規制の遵守	環境法規制への対応	-	-	-	◎

環境会計

アオインネオンでは環境会計を、環境経営の定量的指標のものさしとして捉え、環境保全活動に関わる投資額や費用額、また環境保全効果や経済効果を把握して評価することにより、効果的な取り組みを図っています。

環境保全コスト

2009年度の環境保全コストは投資、費用あわせて2,553,033円を投入しました。(円)

分類 (注1)	投資額(注2)	費用(注3)	事例
地球環境保全、公害防止コスト	0	148,200	浄化槽点検清掃、作業環境測定他
資源循環コスト	0	1,779,038	廃棄物処理委託、省資源
管理活動コスト	0	1,063,800	環境教育、廃棄物管理、保管庫、書籍他
社会活動コスト	0	115,000	地域貢献
環境損傷対応コスト	0	0	なし
合計	0	3,106,038	

(注1) 環境省「環境会計ガイドライン」における環境保全コストの分類
(注2) 投資額とは環境保全を目的とした設備投資
(注3) 費用には環境保全活動に費やした維持運営管理費等が含まれます。

対象期間：2009年8月1日～2010年7月31日
対象サイト：静岡本社、東京本社、大阪支店、浜松支店
参考書：環境省環境会計ガイドライン他

環境保全効果

効果については事業実績に対する削減量を基準として前年度より環境負荷がどれだけ改善されたかを捉えています。産業廃棄物に関しては94.72m³の増加、電気使用量に関しては73476kwhの増加、燃料消費量に関しては18706リットルの増加となり、経済効果としては-4,627,392円となり課題を残す結果でした。

内容	削減効果				経済効果	
	※1 2008年度	※2 2009年度	削減量	単位	内容	金額(円)
産業廃棄物の削減	51.03	145.75	-94.72	m ³	分別による削減	△ 947,200
事業所内使用電気の削減	102704	176180	-73476	kwh	節電による削減	△ 1,248,412
燃費消費量の削減	20388	39094	-18706	リットル	エコドライブによる削減	△ 2,431,780

※1 2009年度事業実績に換算した値 ※2 2009年度実績

『お客様から選ばれる企業』を目指し 品質向上に取り組めます。

Point

- 全ての事業所・工場でISO9001の認証を取得しています。
- 「資格・教育プロジェクト」により、しっかりとした知識や技能を備えた人材育成に注力しています。

■ アオイネオンの品質方針

お客様に安全な製品を提供していくためには、製品の品質を管理するための仕組みの整備が不可欠です。当社では創業以来、独自の品質管理の仕組みを構築してきました。その仕組みをさらに強化するために2001年に品質方針を制定し、2009年には全事業所で品質管理システムの国際規格であるISO9001の認証を取得しました。

また、外部審査機関による監査や社内の専門の担当者が各事業所の品質管理状態を確認する品質監査を毎年実施しています。この品質監査の機会を通じて、各事業所における品質改善事例の水平展開をおこない、全社を通じた品質の向上につながっています。

アオイネオン品質方針(2001年8月制定 2007年8月改訂)

『アオイネオン株式会社の経営理念』

心、情報、光にカタチに

基本方針

1. お客様がサインに期待する情報伝達機能を確実に果たします。
2. お客様が安心して掲出を続けられる安全性、耐久性を確保します。

私たちは「製品の品質」に加え「顧客満足」を重要視した「組織の質」の向上を実現するために、絶えず改善を続けます。

品質目標

1. お客様満足度の向上
2. 高品質の製品づくり
3. 安全性と耐久性の確保
4. シェアの拡大



東京・静岡・大阪・浜松の全事業所・工場
でISO9001の認証を取得しています。

■ すべてのプロセスで品質保証を徹底

アオイネオンの工場で製造される製品には、お客様ごと、物件ごとの製品仕様があり、ご要望ごとに1点1点異なる品質をつくり上げていくことが必要となります。

アオイネオンでは営業・企画・設計から資材調達、製造、施工に至るすべてのプロセスで、全社員が常に「高品質の製品づくり」に取り組んでいます。

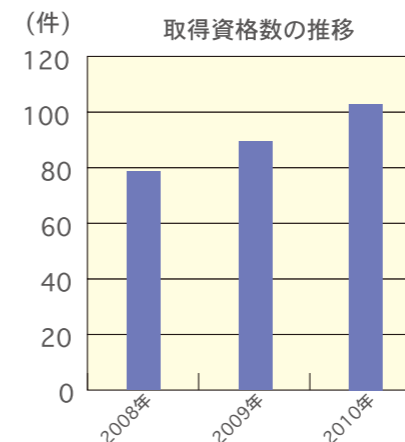


東京本社 品質会議の様子

■ 「資格・教育プロジェクト」

業務に関する資格者の法定要求を満たすことはもちろん、業務上取得することが望ましい資格については、受験費用援助、取得者への報奨などの支援を行い、社外でも通用する能力を身につけることを目的とした人材の育成を行っています。

2009年にスタートした「資格・教育プロジェクト」により資格取得数が大幅に増加しました。



VOICE

安心して信頼できる製品を提供していきます

当社はお客様に満足いただける製品とサービスをご提供するために弛まぬ改善を続け、全社で品質の向上に努めています。

また、ニーズに応えられるよう新しい技術・製品の開発にも取り組んでおります。

今後もお客様の満足度向上の実現を基本姿勢



東京本社 品質管理責任者
及川孝徳

として、クオリティーの高い製品をご提供できるよう持続的に成長できる企業でありたいと思います。

安全で快適な職場環境づくり。

Point

- 定期的実施状況の評価し、フォロー・改善を実施する事で安全衛生水準の向上を図っています。
- 災害時に可能な限り円滑な活動が行えるよう、総合的な防災対策を実施しています。

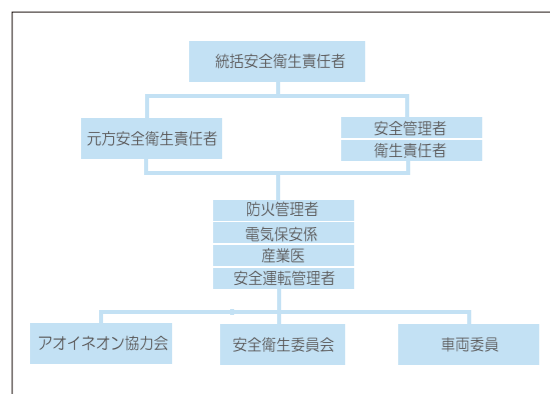
安全衛生委員会 2009年度目標と結果

当社における労働災害は、長年にわたる安全活動のなかで低減してきています。継続的な改善を目指すため、安全衛生目標を設定し、当該目標において一定期間に達成すべき到達点を明らかにし目標達成の度合いを客観的に評価できるようにしています。残念ながら達成出来なかった目標については、原因を究明し次年度の改善に結びつけます。

	2009年度目標	施策	2009年度実績
交通事故	<ul style="list-style-type: none"> ● 重大な事故発生件数0件 ● 軽微な事故発生件数1件以下 	<ul style="list-style-type: none"> ● 過去3年間に事故を起こした社員を対象に教育を実施する ● 事故発生後、委員会で原因を究明、対策を検討、実施する 	<ul style="list-style-type: none"> ● 重大な事故発生件数0件 ● 軽微な事故発生件数2件
物損・労働災害	<ul style="list-style-type: none"> ● 重大な事故発生件数0件 ● 軽微な事故発生件数2件以下 	<ul style="list-style-type: none"> ● 過去3年間に事故を起こした社員を対象に教育を実施する ● 事故発生後、委員会で原因を究明、対策を検討、実施する 	<ul style="list-style-type: none"> ● 重大な事故発生件数0件 ● 軽微な事故発生件数5件

対象：全拠点 期間：2009年8月1日～2010年7月31日

安全衛生委員会の主な活動と組織体制



安全衛生委員会	毎月1回
安全パトロール	毎月1回
KYミーティング	現場作業開始前
産業医工場巡視	毎月1回
作業環境測定	年2回

安全パトロール

作業開始前にKYミーティングを実施しています。現場の責任者が当日の作業内容に関して安全作業のポイントを確認し、注意します。



作業前のKYミーティング

VOICE

厳しい目で安全体制を整えます



浜松支店 推進管理 佐藤正俊

作業現場に於いては「無事故」が絶対条件です。それには、設計・製作・施工、全ての工程で「安全」がテーマとなります。弊社では、品質マネジメントで構築された手順に沿って「工事計画」が立案され、「現場管理」の強化を図っております。これからも厳しい目で安全体制を整えたいと思います。

作業環境測定

労働安全衛生法により、有害な業務を行う屋内作業（粉じん・騒音・有機溶剤などの作業）について、作業環境測定を行う義務が課せられています。当社では従業員の安全と健康を守り、快適な職場環境を確保するため定期的に作業環境測定機関による測定を実施し、職場環境の維持・向上に努めています。



塗装室 空気汚染測定



ネオン室 空気汚染測定

緊急事態への対応

火災や大規模地震などの緊急事態が発生した場合に備え、防災体制を定め運用しています。定期的な防災訓練を実施し、緊急事態発生時に人的安全の確保及び円滑な防災活動を行えるように体制を整えています。



大阪支店



静岡本社

心、情報、光にカタチに

<http://www.aoineon.com>

CORPORATE SOCIAL RESPONSIBILITY ETHICS COMPLIANCE SAFETY HEALTH ENVIRONMENT QUALITY 2010

アオイネオン株式会社

一級建築士事務所 特定建設業許可（国土交通大臣）
ISO14001:2004（東京・静岡・浜松・大阪） ISO9001:2008（東京・静岡・浜松・大阪） 認証取得

発行日/2010年12月20日

チャレンジ
未来が変わる。
日本が変わる。 25

R100
全国民営100社が参加しています

PRINTED WITH
SOY INK